

チンギス紀 十四 萬里

著者名： 北方 謙三
出版社： 集英社

ホラズム国に遠征するチンギス・カンを、十分な兵力を持つ軍隊が待ち受けていた。
好評第14巻。

汝、星のごとく

著者名： 凧良 ゆう
出版社： 講談社

その愛は、あまりにも切ない。

正しさに縛られ、愛に呪われ、それでもわたしたちは生きていく。
本屋大賞受賞作『流浪の月』著者の、心の奥深くに響く最高傑作。

星屑

著者名： 村山 由佳
出版社： 幻冬舎

大手芸能事務所「鳳プロ」のマネージャーながらも雑用ばかりでくさっていた桐絵は、博多のライブハウスで歌う16歳の少女・ミチルに惚れこみ、上京させる。鳳プロでは専務の14歳の娘・真由のデビューが決まっており、ミチルに芽はないはずだった。しかし彼女のまっすぐな情熱と声は周囲を動かしてゆく。反りが合わずに喧嘩ばかりの二人。妨害、挫折、出生の秘密、スキャンダル…その果てに少女たちが見るものは…。必死にもがく少女たちと、大人たちの様々な思惑が織りなす、息もつかせぬ痛快長編！

「私」という男の生涯

著者名： 石原 慎太郎
出版社： 幻冬舎

「自分と妻」の死後の出版のために書かれた自伝

弟・裕次郎や家族への愛と感謝、文学・政治への情熱と悔恨、通り過ぎていった女たちへの思慕と感傷……。
太陽のような輝きで、この国を照らし続けた男が死して初めて明かす「わが人生の証明」。

よって件のごとし 三島屋変調百物語八之続

著者名： 宮部 みゆき
出版社： KADOKAWA

江戸は神田三島町にある袋物屋の三島屋は、風変わりな百物語をしていることで知られている。語り手一人に聞き手も一人、話はけっして外には漏らさず、「語って語り捨て、聞いて聞き捨て」これが三島屋の変わり百物語の趣向である。従姉妹のおちかから聞き手を受け継いだ三島屋の「小旦那」こと富次郎は、おちかの出産を控える中で障りがあるとはならないと、しばらく百物語をお休みすることに決める。休止前の最後の語り手は、商人風の老人と目の見えない彼の妻だった。老人はかつて暮らした村でおきた「ひとでなし」にまつわる顛末を語りだす――。

宙ごはん

著者名： 町田 そのこ
出版社： 小学館

大丈夫。わたしを頼って。きっと、この物語はあなたの人生を支えてくれる。2021年本屋大賞第1位『52ヘルツのクジラたち』『星を掬う』の先にたどり着いた救いと再生の物語。

祈りのカルテ 再会のセラピー

著者名： 知念 実希人
出版社： KADOKAWA

研修を経て、循環器内科医となった諏訪野良太は、学会発表を終えた帰り、医学生時代の同級生である小鳥遊に遭遇する。小鳥遊が連れていた研修医・鴻ノ池に、研修のエピソードを求められた諏訪野の脳裏に蘇るのは、親身に寄り添ってきた患者たちのこと。まるで戦場のような救急部、心の傷と向き合う形成外科、かけがえのない“ある人”との出会いと別れを経験した緩和ケア科。切なくもあたたかな記憶の扉がいま開く。心震える医療ミステリ「祈りのカルテ」シリーズ、待望の新刊！

その本は

著者名： 又吉 直樹 ヨシタケ シンスケ
出版社： ポプラ社

お笑い芸人で芥川賞作家の又吉直樹と、大人気の絵本作家ヨシタケシンスケによる、笑えて泣けて胸を打たれる、本にまつわる物語。

リアルサイズ古生物図鑑 中生代編

著者名： 土屋 健
出版社： 技術評論社

中生代編では、三畳紀、ジュラ紀、白亜紀の3地質年代を生きた生物から100種以上をピックアップ。そのサイズの秘密に迫ります。
本書では、ついに恐竜たちがどーんと登場！もちろん、海棲は虫類、翼竜、ほ乳類、鳥類、両生類、植物、そして軟体動物といったマニアックな古生物も登場します。

〔新版〕岩石・鉱物・化石 DVDつき

著者名： 萩谷 宏
出版社： 小学館

石の図鑑の決定版がさらにパワーアップ！

【岩石約150種類の見分けポイントがよくわかる】
巻頭特集では、石の見どころと面白さを初心者向けに楽しく紹介します。
図鑑ページは見分けポイントの解説や拡大写真が充実。
2022年6月新版にしてベストセラー。